

## 第26回 英語祭報告(2006年 8月25日実施)



第26回英語祭は、今年も横浜市栄区の「地球市民かながわプラザ」で8月25日(金)に開催され、市内の中学生159人と英語指導助手(AET)75名が、英語を通してコミュニケーションを深めました。

テーマは「私の宝物」。昨年と同じテーマでしたが、AETや生徒達1人1人が持参した写真や人形、楽器などを見せ合いながら楽しげに会話を弾ませている光景が随所に見られ、例年のことながら、国境を越えた心と心の触れ合いが感じられたひとときでした。

午後は、「日本の民謡」や「ヒップホップ」、「フォークダンス」、「バスケット」、「お菓子作り」のコースに分かれ、2時間余りの活動後、ショータイムでその成果が披露されました。

「日本の民謡」コースは、黄色いハッピー姿の生徒達やAETが「よさこいソーラン」を軽やかに踊り、「ヒップホップ」コースは、2グループに分かれての国際色豊かなダンスが披露されました。

「フォークダンス」コースはAETのバグパイプによる演奏に始まり、会場は明るいステップの踊りに手拍子も加わって、熱気があふれるほどでした。さらに潮田中学校生徒による楽器演奏やダンスは、さまざまな国の特色や文化が随所に感じられて、まさに地球上の人々の手と手のぬくもりが伝わってくるようでした。

また、「バスケット」のコースからは、白熱化したゲームの様子が、「お菓子作り」のコースからは、生徒達とAETが杏仁豆腐とクリームビスケットを作り、和やかなTea Timeになったことが英語で報告されました。

「100%英語で」という目標にはなかなか届きませんが、英語を学びたいというスタートラインに立っただけでも参加した大きな意義があったと思います。他校のAETや生徒と友達になり、文通したいというきっかけになった生徒もいます。多くの生徒がAETの存在の大きさを実感し、英語で表現することにより、自分をもっともっと成長させたいという意識を持ってくれたことを、この上なく嬉しく思います。

来年も「英語祭」の会場で、たくさんの“I love English.”が聞けることを楽しみにしています。

横浜市英語教育研究会

国際理解教育部部長 並木 みえ子